



 新田ゼラチン株式会社

2025年3月期

決算説明及び 中期経営計画進捗について

2025年5月14日

証券コード / 4977

INDEX

- 1** 2025年3月期 決算概要 …P.3
- 2** 2026年3月期 業績予想 …P.11
- 3** 2024-2026中期経営計画 進捗状況 …P.15

決算ハイライト

2025年3月期 決算

- 1 NGU*生産停止影響により減収も、収益性は大きく改善 *ニッタゼラチンユーエスエーInc.
- 2 日本での業績好調もあり、各段階利益において過去最高を達成
- 3 株主還元を強化すべく、前期から4円の増配に加え、5円の特別配当を実施

2026年3月期 通期予想

- 1 米国関税の影響を織り込みながらも、営業利益は2期連続の過去最高達成を目指す

連結損益計算書

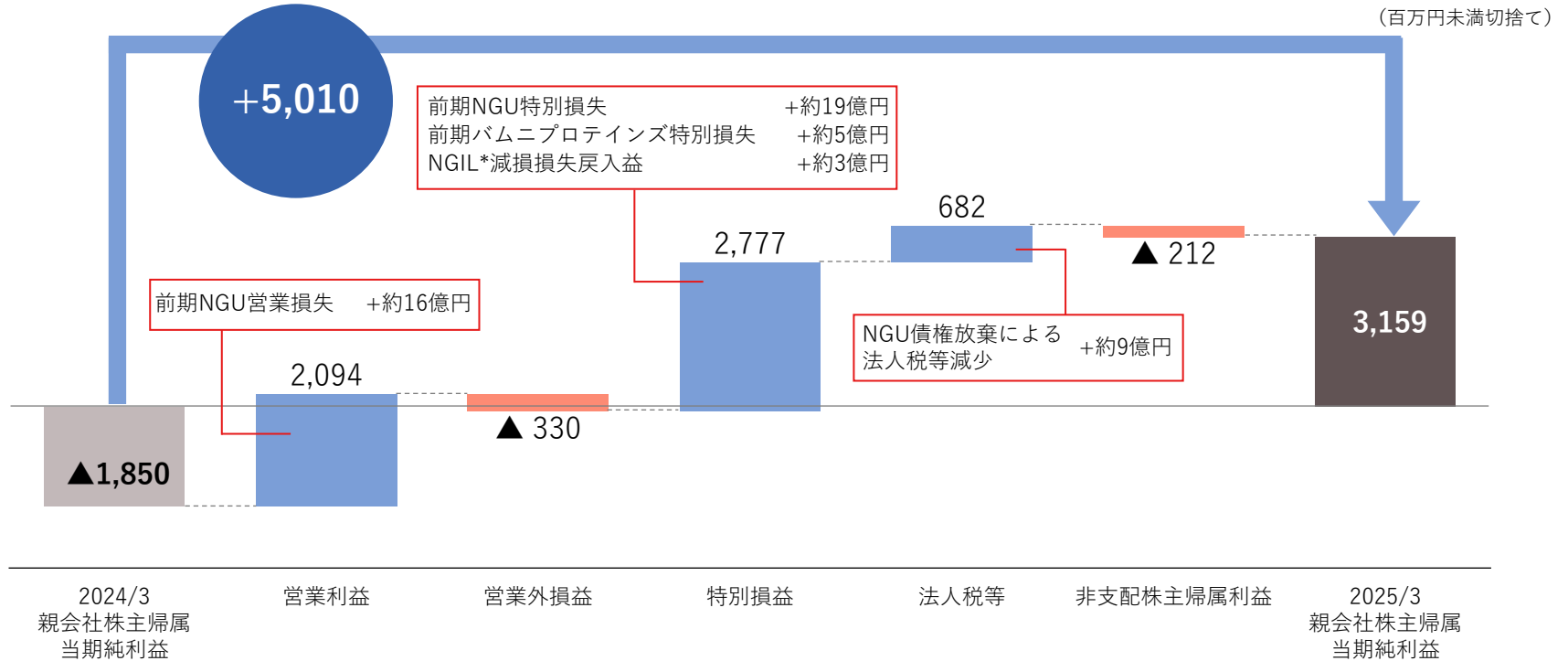
北米収益改善、日本での業績好調により大幅増益

(百万円未満切捨て)

単位：百万円	2024/3	2025/3	前期対比	
	実績	実績	増減	対比
売上高	40,420	38,745	▲ 1,675	▲ 4.1%
売上総利益	8,289	9,960	+ 1,670	+ 20.2%
営業利益	1,836	3,930	+ 2,094	+ 114.0%
営業利益率	4.5%	10.1%	+ 5.6pt	—
経常利益	2,382	4,145	+ 1,763	+ 74.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 1,850	3,159	+ 5,010	—

当期純利益の主な増減要因

NGU関連の前期損失からの回復や、当期の法人税等減少により、最終利益は大幅増益

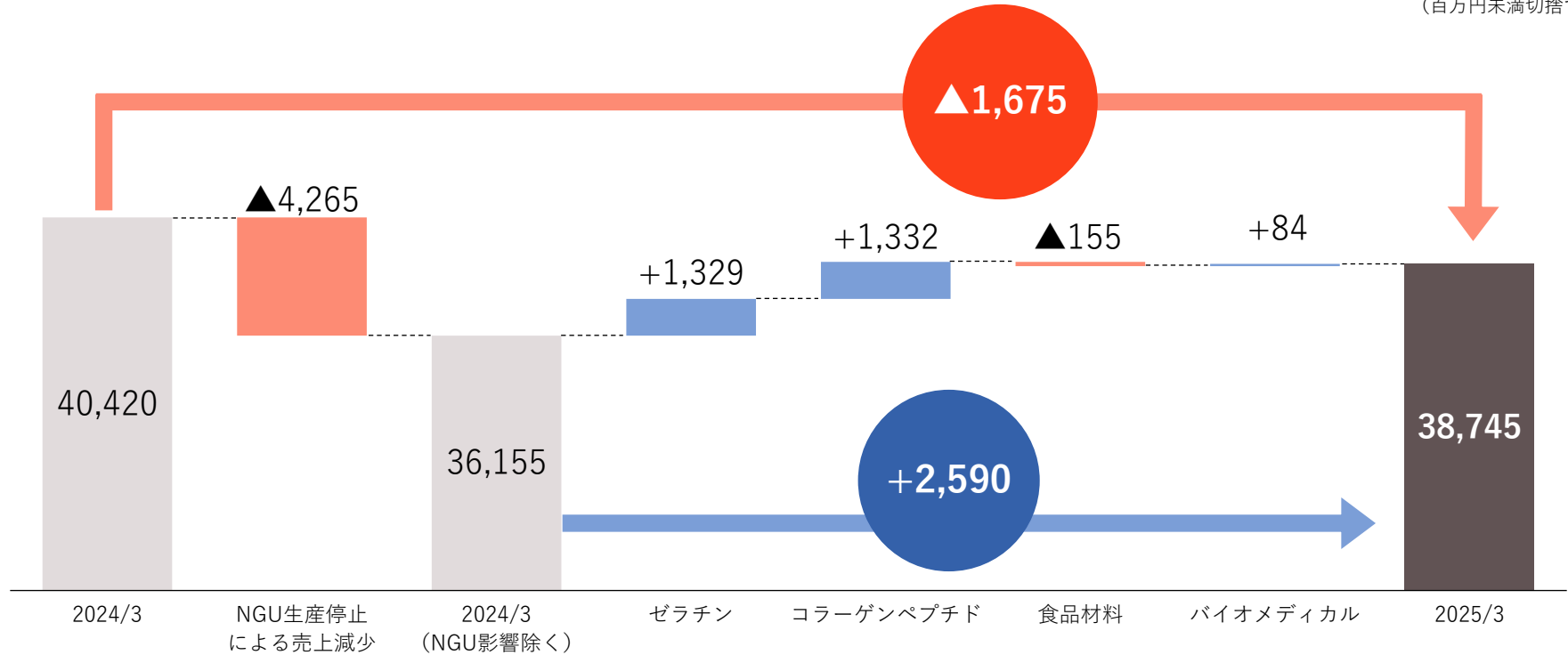


*ニッタゼラチンインディアLtd.

連結売上高増減要因

NGU生産停止影響を除いて、各製品区分とも順調に推移

(百万円未満切捨て)



製品区分別販売概況

2024/3

売上高

2025/3

(百万円未満切捨て)

ゼラチン

30,686

▲6.1%

(NGU影響除く売上高)

27,492

+4.8%

28,821

- NGU生産停止に伴う売上減少により、全体では減収
- 日本のグミキャンディー用、ソフトカプセル用、写真用等は引き続き好調
- 北米では一般食品用途、ソフトカプセル向け牛骨ゼラチンが伸長

コラーゲン
ペプチド

6,228

+4.2%

(NGU影響除く売上高)

5,157

+25.8%

6,489

- 日本では顧客商品の販売減少等により減収
- 北米では新規拡販により数量拡大
- インド、アジア市場は引き続き好調

食品材料

3,239

▲4.8%

3,085

- 製菓・デザート用ゲル化剤は伸長
- 食肉加工用の安定剤販売が減少

バイオ
メディカル

264

+31.8%

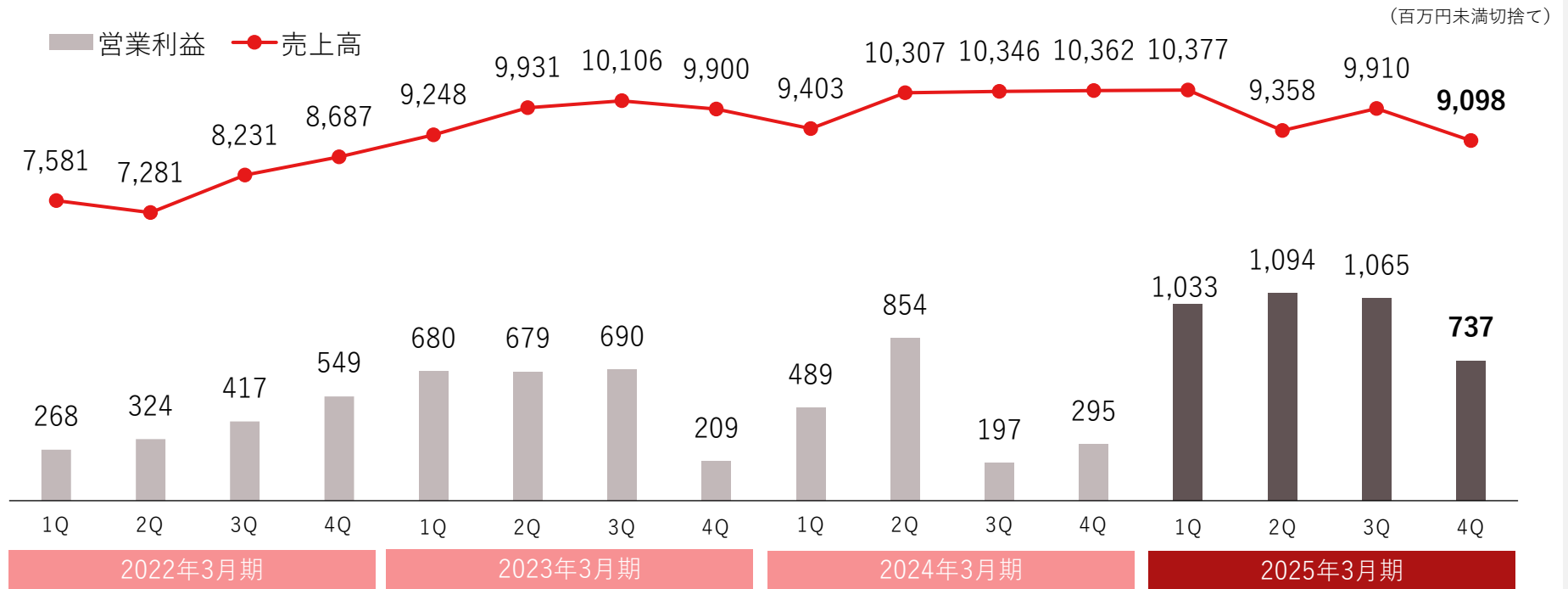
349

- 国内主要顧客への販売が伸長
- 海外医用材料メーカーへの医療用ゼラチンの販売も好調

四半期別連結業績推移

2025年3月期は収益性改善により前期比で大幅増益

第4四半期は市況価格低下に伴う売上減少と販管費の一時的増加により第3四半期より減益



連結貸借対照表

短期借入金が大きく減少、有利子負債の削減が進む

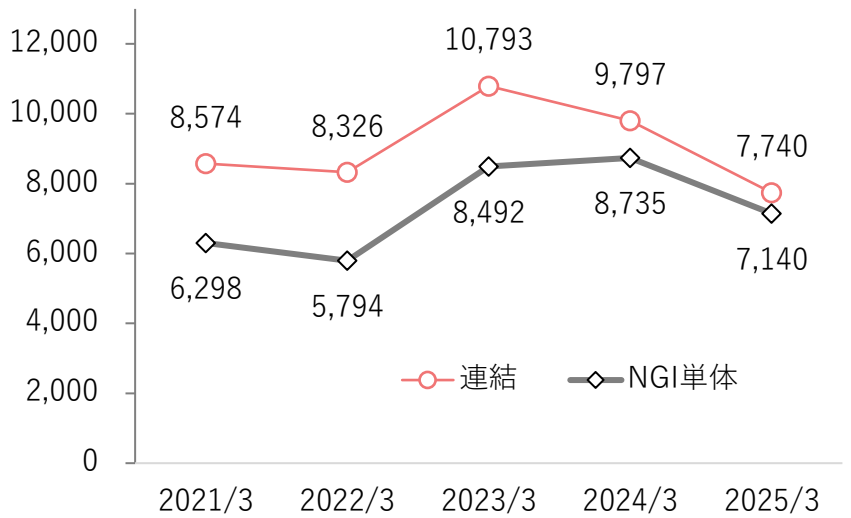
2025/3期末・2024/3期末対比

(百万円未満切捨て)

流動資産		負債	
▲350		▲2,654	
現金・預金	+926	支払手形・買掛金	+142
受取手形・売掛金	▲359	短期借入金	▲2,055
棚卸資産	▲1,025	長期借入金	+26
固定資産		純資産	
+801		+3,105	
有形固定資産	+332	株主資本計	+2,850
無形固定資産	▲72	その他包括利益累計額	▲346
投資その他資産	+541	非支配株主持分	+601

総資産合計 40,413 (+451)

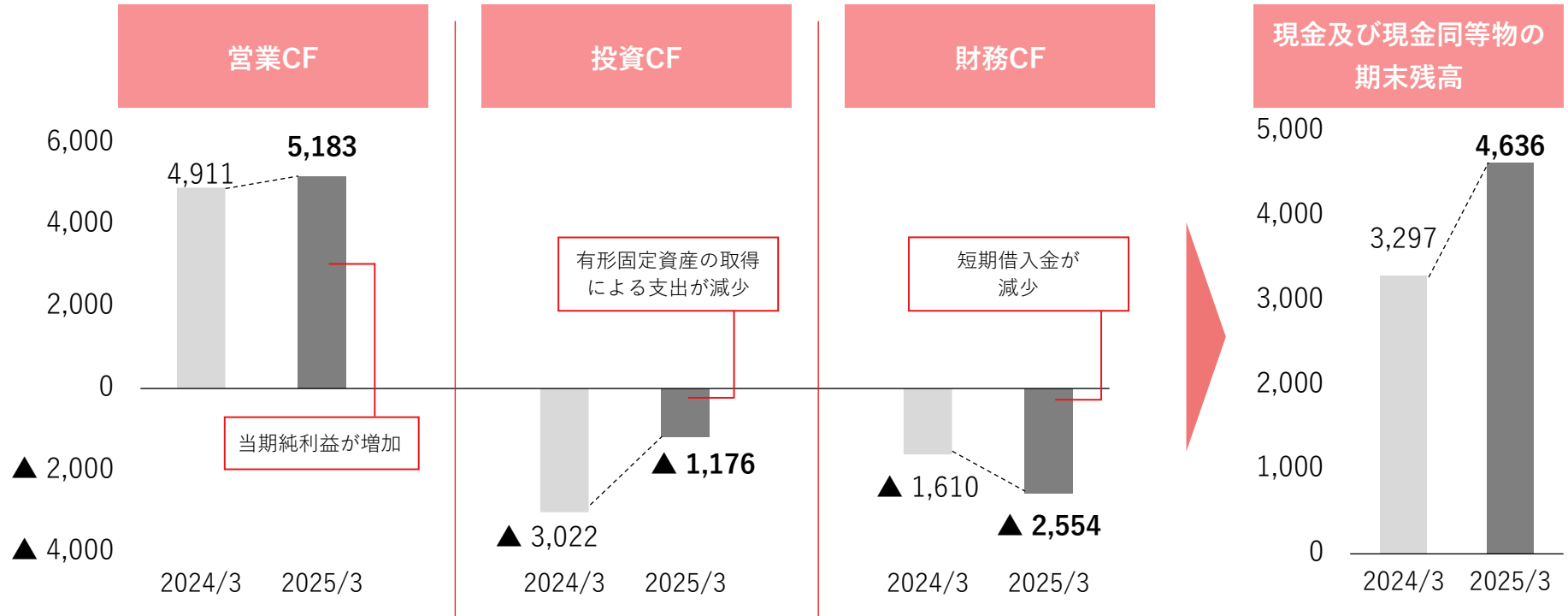
有利子負債推移 (連結・NGI単体)



連結キャッシュ・フロー計算書

堅調な業績によりキャッシュ・フローが改善。借入金も減少

(百万円未満切捨て)



2026年3月期 業績予想

米国関税の影響によるリスク*を織り込んだうえで、過去最高の営業利益を目指す

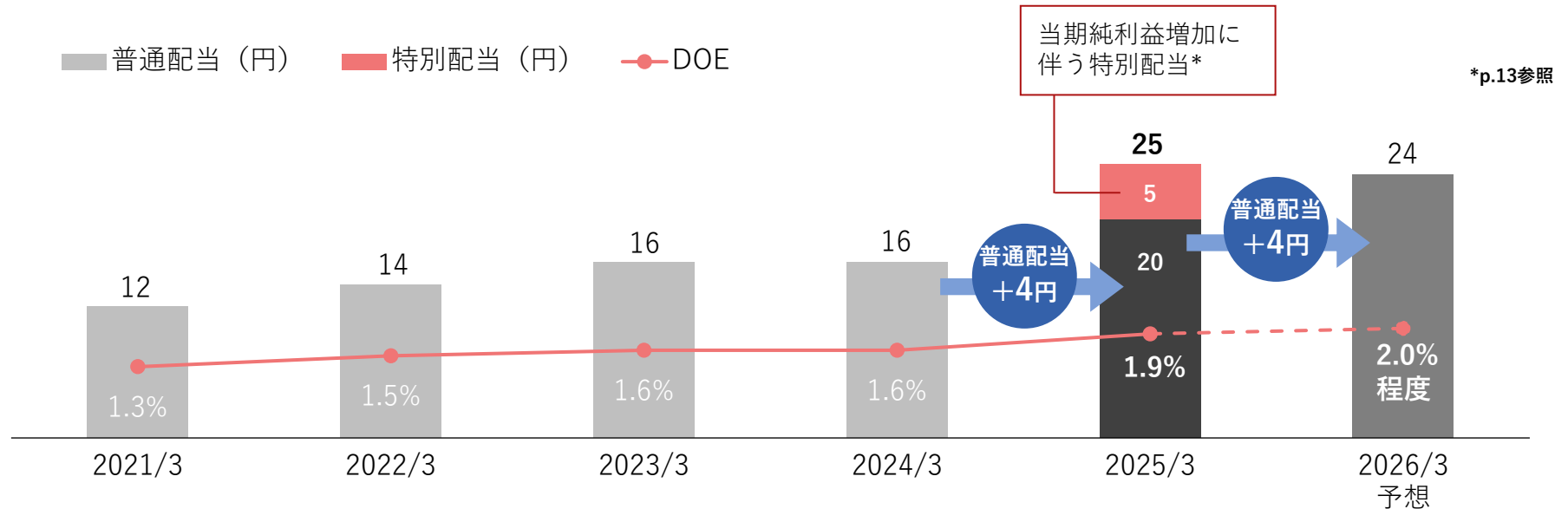
*p.14参照

(百万円未満切捨て)

単位：百万円	2025/3	2026/3	前期対比	
	実績	業績予想	増減	対比
売上高	38,745	40,000	+ 1,255	+ 3.2%
売上総利益	9,960	10,600	+ 639	+ 6.4%
営業利益	3,930	4,000	+ 69	+ 1.8%
営業利益率	10.1%	10.0%	▲ 0.1pt	—
経常利益	4,145	4,100	▲ 45	▲ 1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,159	2,100	▲ 1,059	▲ 33.5%

配当の状況

株主還元の強化のため、前期から4円の増配に加え、5円の特別配当を実施
 2026年3月期は中計目標のDOE2.0%以上を達成する見込み



※ DOE (株主資本配当率) = 配当総額 / (純資産 - 非支配株主持分)

トピック

1. NGU清算について

■ NGU清算までの経緯

時期	内容
2024年3月期4Q	生産性悪化により工場の生産を停止 ・固定資産減損損失（約18億円） ・特別退職金・製造設備撤去費用等の事業整理損（約1.2億円） を計上
2025年3月期3Q	工場関連の固定資産を譲渡 ・固定資産売却益（約2.5億円） ・工場閉鎖関連損失（通期で約2.5億円） を計上
2025年3月期4Q	解散及び同社に対する債権放棄を決議
2026年3月期1Q（6月）	清算終了予定

■ 債権放棄に伴う当期純利益の増加について

- 2025年2月のNGU債権放棄に伴い、貸倒引当金繰入額を税務上損金算入したことから、法人税等が約9億円 ※ 減少し、当期純利益が増加。これによるキャッシュの増加約6億円のうち、1億円を特別配当として株主還元、5億円を有利子負債の返済に充当。

※法人税、住民税及び事業税約6億円、法人税等調整額約3億円

トピック

2. 米国の関税措置の影響について

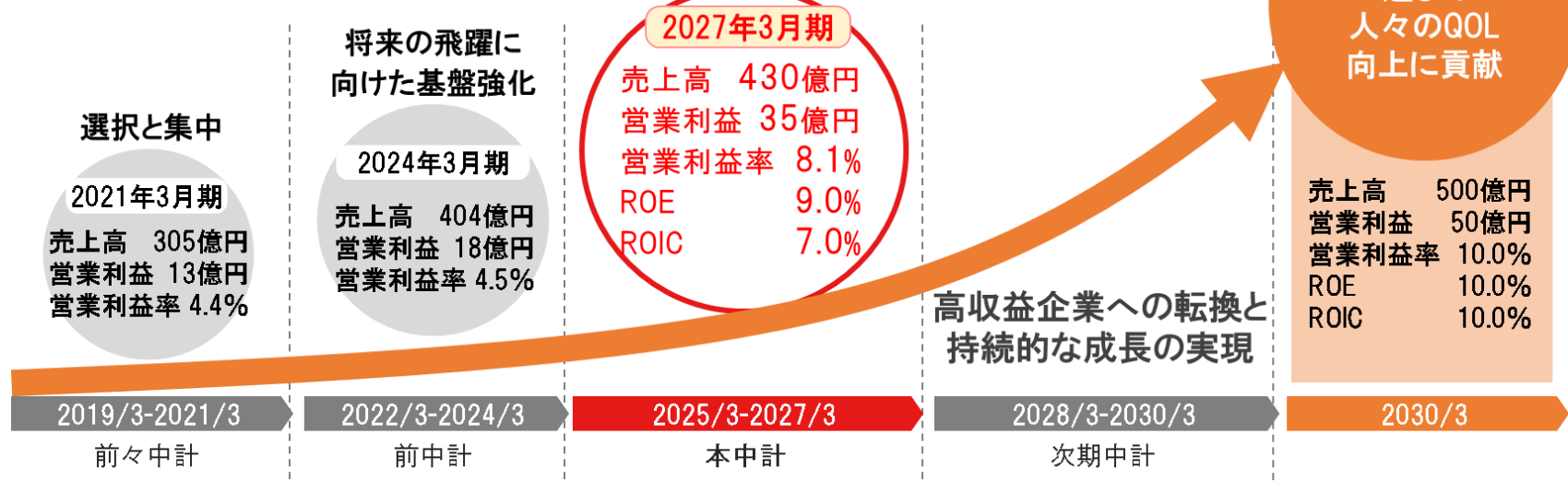
<p>想定される影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主に、日本・インドなど当社グループ内の拠点で製造し、米国に輸出版売しているゼラチン、コラーゲンペプチド等への追加課税
<p>対応方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 米国内の顧客に対し、基本的に追加関税分を価格転嫁することで、業績への影響を最小化する。ただし、顧客への価格転嫁をタイムリーに行えない場合や、価格競争の激化に伴う販売数量の変化等が生じる可能性はあり得る 業績予想については、10%の追加関税が2026年3月末まで継続することを前提とした場合の影響額を織り込み済



2024-2026中期経営計画 進捗状況

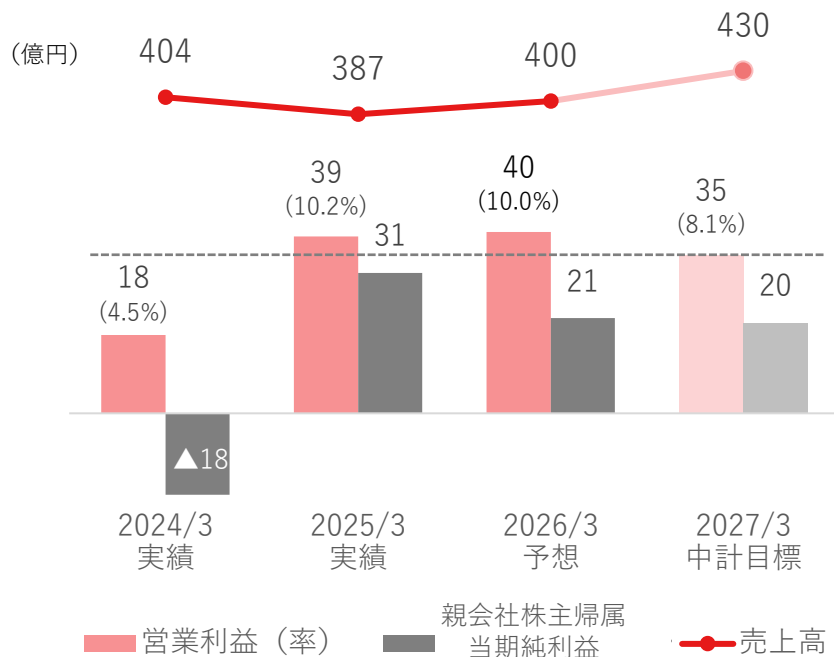
2030年ビジョン

収益力及びキャッシュ 創出力の抜本的強化



KPIの進捗状況

各指標とも中計最終年度の目標に向け順調に進捗。
利益水準は目標を超過しており、目標見直しを検討中。



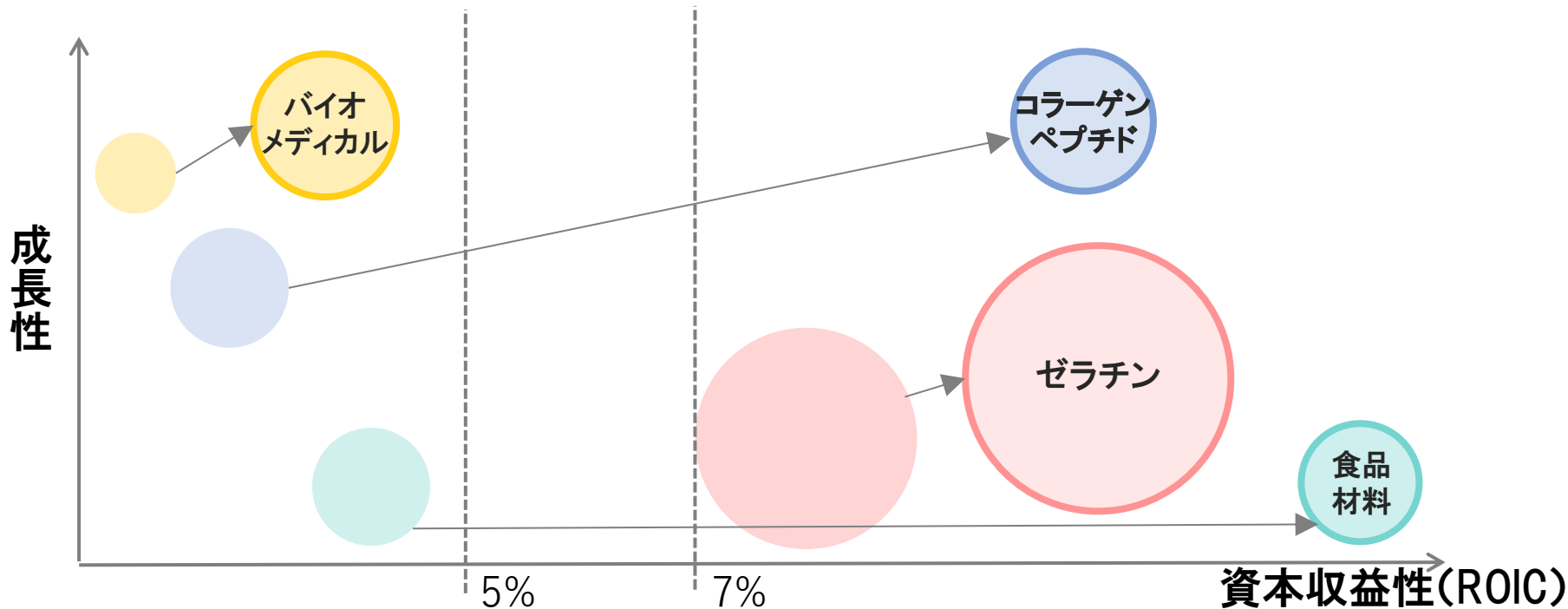
	2024/3	2025/3	2027/3
	実績	実績	目標
ROE	▲9.9%	16.3%	9.0%
ROIC	4.4%	9.0%	7.0%
CCC*	5.9ヶ月	5.3ヵ月	5.0ヶ月

*キャッシュ・コンバージョン・サイクル

ROIC改善状況

収益改善に伴い、バイオメディカル以外は当社WACC（5%程度と推計）及び目標7%を超過

製品区分別ポートフォリオ



各テーマの進捗状況

バイオメディカルの拡販、PBR改善、在庫削減を除き順調に進捗

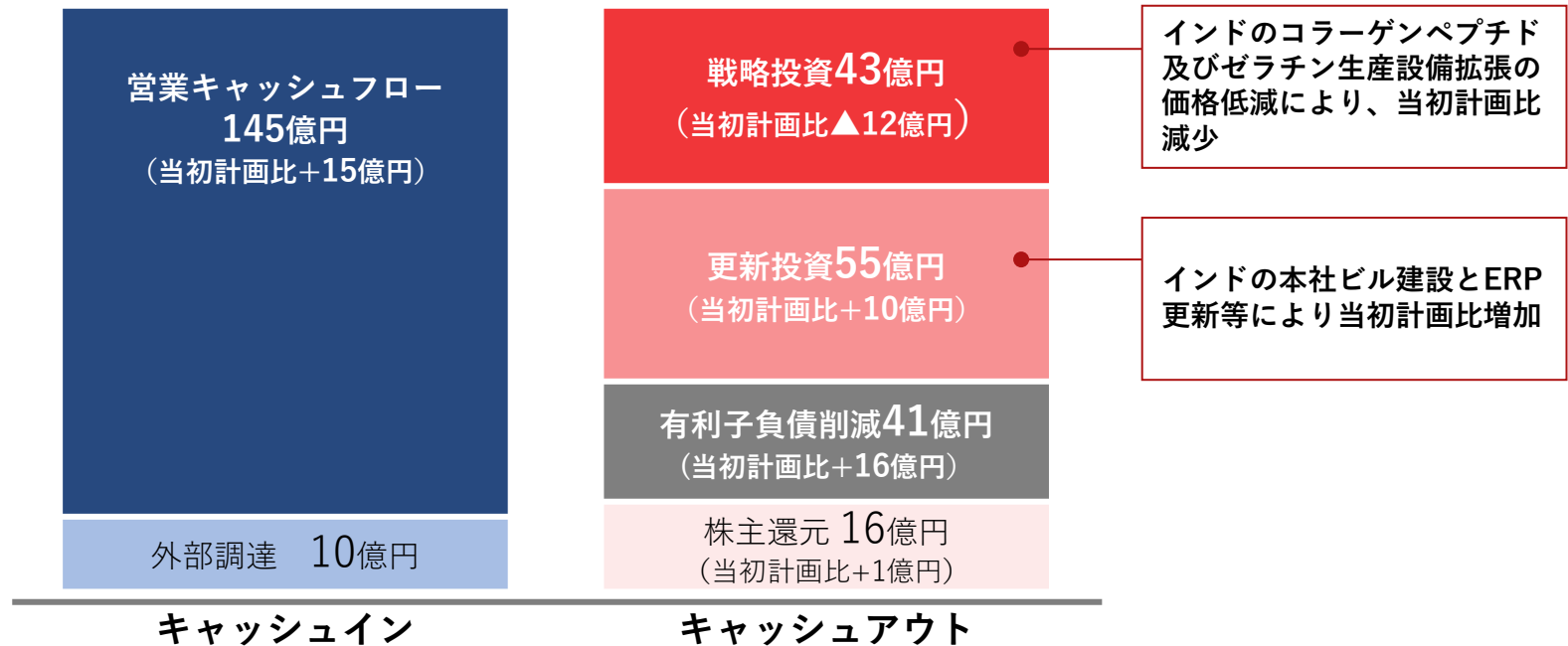
- 順調に進捗
- 足元未達も達成見込み
- 未達の可能性あり

	3ヵ年目標	2025年3月期実績	進捗
収益力の 抜本的 強化	生産体制の再編	<ul style="list-style-type: none"> ・ インド拠点の増産計画進捗中 (2025年6月コラーゲンペプチド、2027年7月ゼラチン稼働予定) ・ 北米NGUの清算 	●
	バイオメディカルの黒字化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外での拡販等実現も売上進捗は目標未達 	●
財務 戦略	設備投資 (戦略投資：55億円、更新投資：45億円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定中の主な戦略投資は順調に進行中 	●
	配当方針 (DOE2.0%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期から4円増配の年間配当20円+特別配当5円 (DOE：2.3%相当) 	●
	PBR改善 (1.0倍以上、目標株価1,100円以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年3月末時点PBR 0.72倍、株価824円 	●
	キャッシュ創出力強化 (CCC* 5.0ヵ月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕入先・販売先との取引条件見直し進むも在庫削減は途上 	●
経営基盤 の強化	事業基盤の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原料調達：購買先の多角化と主要な購買先との関係強化について進行中 ・ ERP：2026年3月期中に稼働予定 	●
	グローバルガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外子会社に対する監督体制を強化 	●
	人的資本の価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員個人の成長と組織の持続的発展を目的に評価制度の見直しを実施 	●

*キャッシュ・コンバージョン・サイクル

キャピタルアロケーションの見直し（中計3ヶ年）

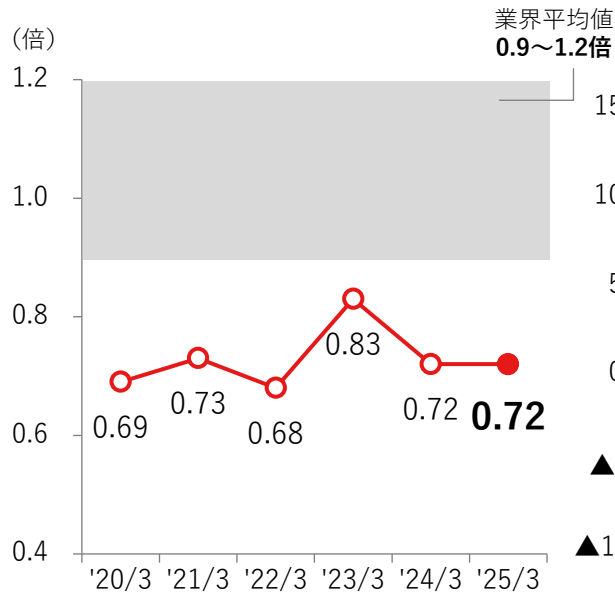
好調な業績により営業キャッシュフロー改善。有利子負債削減が順調に進行中



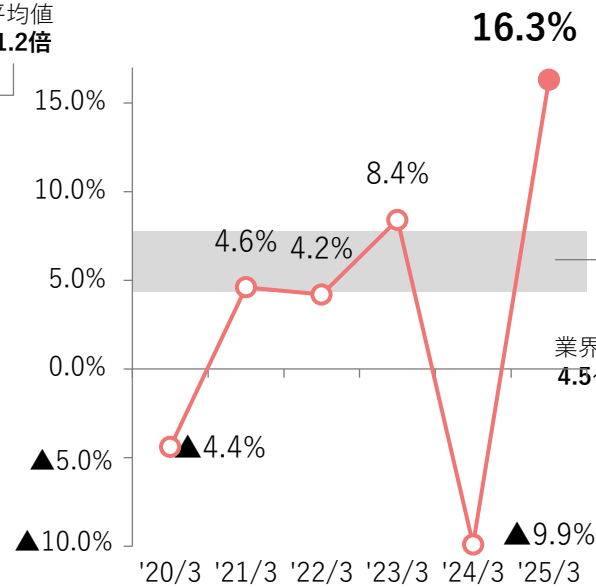
PBR改善状況

引き続き収益性の改善に努めるとともに、事業リスク低減と期待成長率向上に取り組む

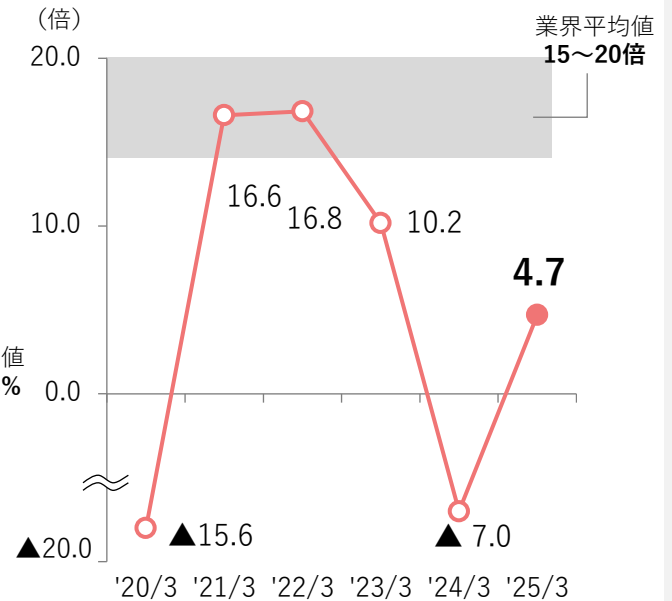
PBR推移



ROE推移



PER推移



※業界平均値：食料品・化学セクター平均値

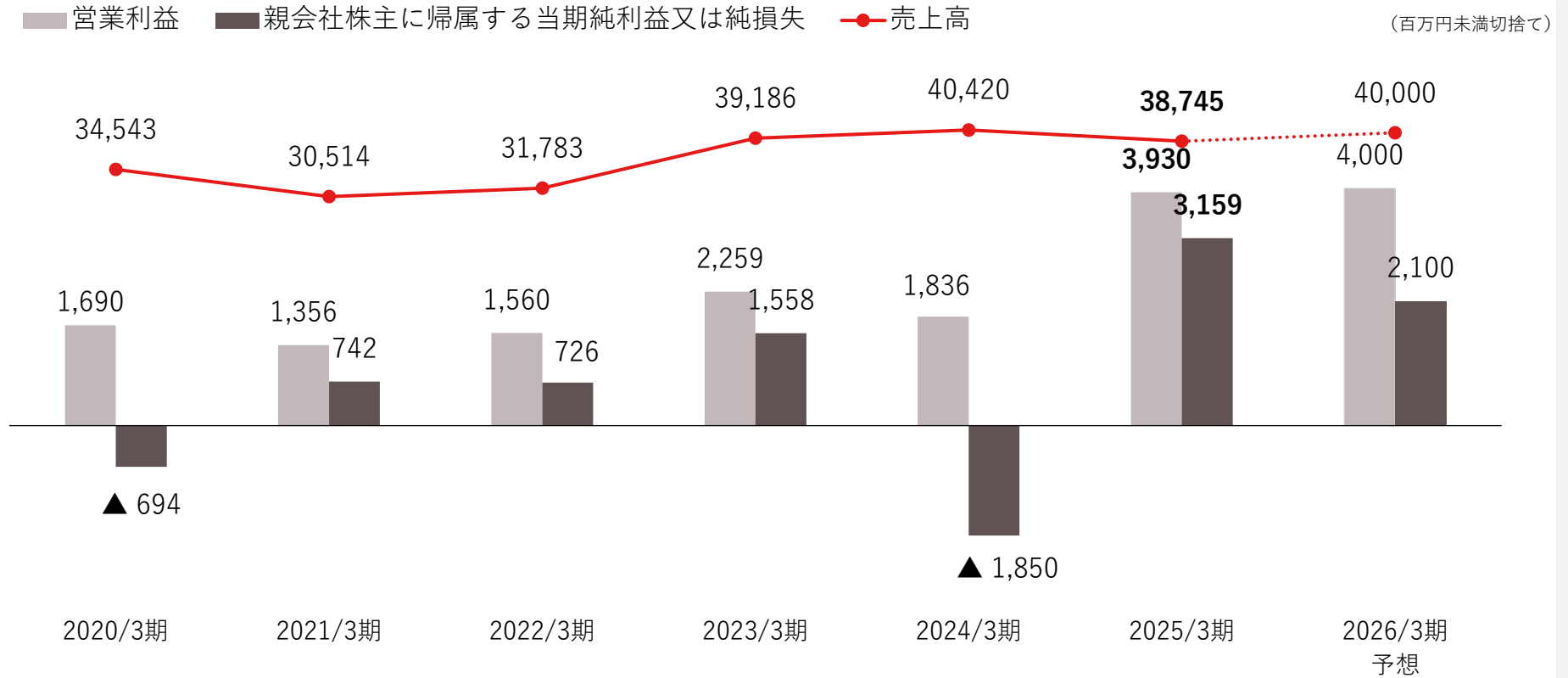
ご案内

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、
資料作成時点での弊社の判断であります。
その情報の正確性を保障するものではありません。
市場環境等の様々な要因により、
今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。
ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

新田ゼラチン株式会社
経営企画部 IR・広報チーム

【お問い合わせ】 <https://cloud.swcms.net/nitta-gelatinPublic/ja/ir/inquiry6.html>

[参考資料] 連結業績推移



[参考資料] 為替換算レート

2025年3月期実績 及び 2026年3月期予想

単位：円	2024/3	2025/3	前期差異	2026/3	前期差異
	実績	実績		予想	
米ドル	144.40	152.47	+ 8.07	150.00	▲ 2.47
カナダドル	106.99	109.52	+ 2.53	109.00	▲ 0.52
インドルピー	1.75	1.80	+ 0.05	1.75	▲ 0.05